

# みんなインソール® ブランドブック

---

～“芯”がつくる、転ばない世界へ～

## 1. 開発ストーリー

1995年1月17日、阪神淡路大震災。

当時、建築関係の仕事に携わっていたみんなインソール®の開発者は、現場で数々の被害と向き合う中で、ある先輩から語られた話に深く心を打たれました。

それは、ある木造住宅の耐震補強金物の誕生ストーリー。

建物を“ガチガチに固定する”のではなく、“揺れをしなやかに受け流す”ことで構造全体のバランスを保つという発想—。

この新しい建築の思想は、のちに開発者が手がける製品「みんなインソール®」の原点となりました。

## 2. 建築構造から着想したインソール構造

みんなインソール®には、ある建材メーカー（以下、K社）が開発した木造住宅向け耐震補強金物に通じる、“構造的な思想”が込められています。

家の土台と柱を三次元的に補強して「ねじれ」や「引き抜き」に強くなるように、みんなインソール®も足の骨格構造—とりわけ7つの足根骨（距骨・踵骨・舟状骨・立方骨・3つの楔状骨）—を立体的に支持する芯材設計によって、歩行や立位時のバランスを保持し、重心移動を安定させます。

足を“抑えつける”のではなく、“順応して支える”芯材構造が、転倒予防や姿勢の安定につながり、誰もが安心して「立つ・歩く」ための土台となるのです。

## 3. ブランドメッセージ

芯が変われば、重心が変わる。身体はもっと自由になれる。

株式会社37プラスは、「芯から整える」という視点で、転倒予防・疲労軽減・姿勢改善といった社会課題に向き合っています。

身体の構造に“建築的視点”を取り入れた開発者の発想は、医療・介護・農業・建設など、あらゆる現場の「足元」から広がりはじめています。

#### 4. ブランドキャッチコピー

- 足の“芯”は、家の“基礎”と同じくらい大切です。
- 構造を知れば、インソールの意味が変わる。
- しなやかに支える。それがバランスの正解。